



農業振興に向け事業展開

「女性農業教室」と「農業体験研修」を実施



熱心に聴講する女性農家の方々

つてください」と激励しまし... 女性農業教室」は、女性農業者を対象に、営農・生活面での講座研修を実施し、資質向上と農業における男女共同参画への意識を高めることがねらいです。

八月五日に三原市民センターで開講式と第一回目の講座が行われ、約三十人が出席しました。開講にあたり、中田市長から「研修を積んで新しい農業経営の方法を広げてい



農業体験をしている高校生

を担う青少年の育成を図ることを目的としています。受け入れの第一号として、播磨農業高校三年生の北井くみ子さんが八月二日から二週間、出口順也さん宅（志知）で酪農の体験をしました。出口さん方は乳牛約四十五頭を飼育。北井さんは朝六時に起床し夕方まで、牛舎や餌場の掃除をしたり、餌やりや乳搾りなど牛の世話をしたりして汗を流していました。北井さんは「思った以上にきつい作業だったけど、いろいろ学べてよかった」と話していました。

税務課からのお知らせ

固定資産税 3期 の納付は 9月30日(金)

までにお願ひします
▽問い合わせ 税務課
☎43-5022

付加年金額の計算式

200円×付加保険料納付済月数

【例】

付加保険料を10年間納めた場合、10年間で計48,000円を納めることになる
⇒400円×10年(120月)=48,000円
年金受給時、1年間に受け取る付加年金額は24,000円となります。
⇒200円×10年(120月)=24,000円(年額)

年金だより
ご存知ですか? 付加年金

老後、より多くの老齢基礎年金を受けたいと考えている方は、毎月の国民年金保険料(一万三千五百八十円)に上乗せして付加保険料(月額四百円)を納めることができます。付加保険料を納めると、付加年金として納めた月数に二百円を乗じた金額が年金に上乗せして受けとることができます。

納めることができる方は、第一号被保険者または任意加入被保険者の方です。ただし、保険料の免除を受けている方や国民年金基金の加入者の方は付加保険料を納付することはできません。

明石社会保険事務所の出張年金相談

▽日時 十月七日(金) 午前十一時~午後三時
▽場所 南淡公民館
▽その他 事前にご予約ください(九月末まで)
▽問い合わせ 市民課 ☎43-5023

海外派遣と受入事業

ふれあいを通じて、世界に開かれたまちづくり



セライナ市で現地の学生らと交流を深める南あわじ市の青年・高校生たち

南あわじ市では、海外の学生らとの交流を通じて、世界に開かれたまちづくりを目指し、国際交流事業を行っています。この夏には学生の海外

派遣と姉妹都市の学生の受入を行いました。派遣事業は、市内在住の中学三年生から高校三年生等を対象に、姉妹都市アメリカ・オハイオ州セライナ市での友好親善を図るホームステイコースと、オーストラリア・ケアンズ市の現地語学学校での授業を受け英語力の向上を図る海外英語研修コースの二本立て(両コース十三日間)で、それぞれ十四名と十二名が参加しました。

市の中学生ら六名を七月十五日から七月十九日までの日程で南あわじ市国際交流協会がホームステイの受入をしました。使節団は温かく受け入れてくれた方々に大変感激し、帰国日には、名残惜しさに瞳が潤っていました。

海外派遣と受入事業に参加された方からは「言葉や文化の違いに最初は戸惑うこともあったが、だんだんと心が通じ合った」「この体験はかけがえない宝物になった」と語っていました。

旧4町の広報紙縮刷版が完成

市内の図書館・公民館で閲覧可能。一部販売も

平成十七年一月十一日の南あわじ市誕生までの、旧四町(緑町・西淡町・三原町・南淡町)の出来事などを紹介してきた広報紙の縮刷版がこのほど完成しました。

平成十七年一月までのPDFデータCD-ROMと平成十七年二月~平成十七年一月までの冊子。

これらは市内の図書館や公民館などで閲覧することができます。また、緑町縮刷版は一冊八千円(二十部)で、三原町縮刷版は一万円(百三十部)で販売します。



完成した旧4町の広報紙縮刷版

ご購入は秘書広報室(☎43-5002、中央庁舎)まで。先着順、送料実費。

ふれあい市長室

個々の才能を発揮した行動と実践を



市役所連の一員として市民まつりに参加(中央:中田市長)

りあげよう、楽しもうとする気持ちがあることを支えていると考えております。

行政運営もそうであると思います。市民の皆様が才能を存分に発揮いただきながら自主性を重んじ、しっかりと行政運営を行わなければなりません。ぜひご支援を!

青少年の育成事業として、本市国際交流協会にお世話になり、ホームステイを通して国際交流事業を実施しております。子どもたちは緊張感の中、人種や言葉が違っても、人間の本质は同じであること、地域の文化に誇りを持つていることなど、大切な経験をしたと思います。貴重な体験が頭に残り、自分の中で何かを生み出すことになるでしょう。

厳しかった猛暑から味覚の季節へと四季の移り変わりが感じられる今日このごろです。市民の皆様が楽しみにされていた慶野松原花火大会や福良慈眼寺前の室町時代に始まった伝統行事「永祿の大綱ひき」、福良湾海上花火大会が盛大に執り行われ、私も市役所連の阿波踊りで交流を深めさせていただきました。この開催にあたっては委員会の皆様には、影に日向にご尽力いただき衷心より感謝申し上げます。